

のぼりべつ 社協 だより

noboribetsu shakyo



特集 地域で共に育む福祉の心

若緑町内会のふれあい会食会の様子。
大勢で食べるとおいしい鍋料理を囲み、楽しいひと時を過ごしました。

CONTENTS

- P 2 特集 地域で共に育む福祉の心
- P 3 登別朗読ボランティアの会
道新ボランティア奨励賞を受賞しました
きずなのまちびと
- P 4 カレンダーリサイクル市を開催します！
寄付者のご紹介

 2019
01.01 No. 139

[発行] 社会福祉法人 登別市社会福祉協議会
[事務局] 登別市片倉町6-9-1 登別市総合福祉センターしんた21内
[TEL] 0143-88-0860
[FAX] 0143-88-4546
[mail] info@kizuna-shakyo.jp
[HP] http://kizuna-shakyo.jp/
[Facebook] https://www.facebook.com/kizunashakyo/



この社協だよりの発行は、赤い羽根共同募金の支援を受けています

特集

地域で共に育む福祉の心

登別市地域福祉実践計画「きずな」に基づき、市内では福祉についての理解と温かな心を広げることが目的に、福祉教育事業が広がりを見せています。登別社協では、これからの福祉について皆さんと共に育てていくという想いを込め、「きずな共育推進事業」として進めています。今回の特集では、その内のいくつかの取り組みについてご紹介します。

■住民同士が出会い、気づき、考え合う場

●出前福祉講座

福祉の心を育てる「出前福祉講座」を、市内の学校をはじめ、団体、企業等を対象に実施しています。

聴覚障がい者、視覚障がい者、身体障がい者の方々が講師となり、好きなことや得意なことを楽しみながら生活している様子や、普段の生活の中に不便なことはあっても、周りの少しの気遣いや支援で解消されるのだということも自ら伝え、今後地域で共に支え合って生活していくためには何ができるか、どのようなことが必要かについて、感じ考えながら学びを深めていきます。

講座の開催は、ボランティア活動や防災活動、共同募金活動等の様々なテーマでご希望に合わせ実施することができます。講師派遣や資材の貸し出し等の調整も社協で支援していますので、ぜひご活用ください。

Pick up!

登別青嶺高等学校での出前福祉講座

9月から11月にかけて生徒の皆さんを対象に、身体障がい・聴覚障がいについての講座や振り返りを実施し、学びを深めました。

生徒同士で「今までの学びを通し、今後障がいのある方と地域の中で共に暮らしていくために自分にとっての学びを通して、今後障がいのある方と地域の中で共に暮らしていくために、自分にとっての学びを通して、今後障がいを意見交換しました。地域の方にも障がいについて理解してもらおう取り組みの必要性や、そのためにどういったことが必要かについての意見が多くあげられました。



●お茶の間会議 in 登別中学校

登別中学校の1年生と、同じ地域に住む住民が交流や意見交換を通し自分達の町について考える「お茶の間会議」を、登別小学校区きずな推進委員会主催のもと、毎年実施しています。昨年は生徒達と体育の授業体験や給食を食べて交流した後、地域のために自分達が取り組めることについて考えるグルー



プワークを行いました。世代を超えて住民同士が知り合い、自分の町について想いを深める貴重な機会となっています。

●住民座談会

住民が主体となり、地域に必要な支え合い活動のあり方を考えていくため、住民代表で組織する「きずな推進委員会」と登別社協の共催で、市内8小学校区ごとに「住民座談会」を毎年開催しています。

地域を取り巻く状況や制度等について学びを深め、お茶を飲みながら自分達の地域について語り合い、より良い地域づくりを目指し参加者全員で考えます。

今年度も2月から3月の間に開催を予定しており、「私たちがめざす暮らしのあり方」をテーマにした意見交換や、これから求められる地域づくり等について学びを深めます。住民であればどなたでも参加可能ですので、ぜひご参加ください。



■これからの地域を一緒に

これらの取り組みを通し、登別社協では今後皆さんと共に地域のあり方について考え、温かな思いやりと助け合いの心を育む「きずな共育」で、この町の福祉活動を推進していきます。まずは自分の住む身近な地域やできることに目を向け、知ることから始めてみませんか。



道新ボランティア奨励賞を

受賞しました

福祉分野や市民活動分野において5年以上積極的に優れたボランティア活動を続けている道内の団体へ贈られる道新ボランティア奨励賞を、登別朗読ボランティアの会が受賞し、10月21日に行われたボランティア愛ランド北海道2018 in おたるにて表彰されました。

登別朗読ボランティアの会は、朗読で視覚障がい者の方を支援しようと昭和61年に設立され、これまで30年以上にわたり活動を続けて来られました。

市の広報誌をはじめとした各種情報をテープに吹き込む活動を中心に、会員の技術向上を目指すため講習等を積極的にに行い、学びを深めています。また、高齢者施設へ訪問し朗読で交流を深める活動等を通し、読むことに困難のある方々のためこれまでに培った声で伝える技術を活かしています。

この度の受賞、誠にありがとうございます。



▲贈呈式の様子



▲定例活動の様子

きずなのみちびと

このコーナーでは、地域で精力的に活動されている方のきずな活動に対する想いや、これからの活動の展望などをお伝えします。

今回は、登別朗読ボランティアの会会長 瀧内

智子さんにお話を伺いました。

「人生の張り合いを仲間達と共に」

登別朗読ボランティアの会

会長 瀧内 智子さん（若山町）



この度、道新ボランティア奨励賞をいただき、本当に良いのかと恐縮しながらも、活動に誇りと喜びを持ち、仲間達と信頼し合ってきた今日までの日々を思い返していました。

前会長は指導力もお人柄も素晴らしい方でしたが病気のため、平成11年より私が会長を務めることになりました。現在は会員30名が6グループに分かれ一人ひとりが主体性を持って活動しており、朗読の音だけで正しく文章が伝わるよう、講師を招いて講座を行う等、自分達の技術向上にも努めています。

また、視覚障がい者の方等のためカセットテープに音声吹き込んでいますが、今後はより機能性の高い「デジジー」という電子図書の仕事を活用していく予定です。それに向け、会全体で頑張る取り組みをしています。

会の活動の対象となるのは「視力に障がいのあ

「まちびとには、登別のまちの人、問題とひとをマッチングさせる人、布の長さを補うまちのように地域を補う人という意味が込められています」

る方」だけではなく、「読むことに困難のある方すべて」と広く捉えるべきと考えようになり、現在は文字を読むことが難しくなった方や、小さな子ども達に向けても活動を広げています。

「無理せず、楽しみながら多くを学び、充実感を得られる会であること」を活動の基本としています。会員それぞれに得意・不得意があり、加えて家族の介護や本人の仕事、病気等、抱える事情も様々です。そのため、活動への参加は事情に合わせ無理はしないこととしています。

また、定例会では活動内容だけでなく、お互いの近況報告や日頃感じていること等も話せる雰囲気づくりを大切にしています。この時間を楽しみにしているという声もあり、定例会も勉強会も出席率が高いことの理由の一つかと思えます。

そして、会員同士で「これからも仲良く、楽しく、助け合って歳をとっていきこうね」と話し合っています。一人ひとりが役割を持って学び合い、この会での活動を通して人生の中に充実感や張り合いのある時間が生まれるよう、これからも状況や体力に合わせ無理なく続けていきたいと思っています。

カレンダーリサイクル市を 開催します！

今年度も、協同組合登別中央ショッピングセンター「アーニス」との共同企画として、カレンダーリサイクル市を開催します。益金は登別社協を通じて、市内の地域福祉活動のために活用されます。

自分にできるかたちで、福祉活動に参加してみませんか。

皆様のご来場をお待ちしています。

【日時】平成31年1月11日（金）・12日（土）

両日とも10時～16時

【会場】アーニス1階広場

【内容】

カレンダー一冊につき100円以上の募金でご提供します。（一部例外品あり）

※募金のため、両替やおつりの対応はいたしかねます。予めご了承ください。



また、アーニスのご協力のもと「ガチャガチャ募金」を実施しています。

1回100円の募金で、市内等の法人や企業からご協賛いただいた景品を提供します。

新年の運だめしに、ぜひ挑戦してみませんか。

カレンダーを募集しています！

リサイクル市で活用させていただく平成31年のカレンダーを募集しています。

ご自宅や勤務先等で使用しないカレンダーをお持ちの方は、1月10日（木）までに登別社協、もしくはアーニスのサービスカウンターまでお持ちください。

寄付者のご紹介（平成30年10月1日～平成30年11月30日）

（敬称略／単位：円）

受領年月日	寄付者名	寄付金額	寄付の目的
H30.10.04	TIO ガチョン	6,005	社会福祉のために
H30.10.09	匿名	3,000	日頃デイサービスでお世話になっている感謝の意を込めて社会福祉のために
H30.10.10	田渕 和美	50,000	社会福祉のために
H30.10.10	わしこうD愛好会	11,000	アークスD愛好会、わかさD愛好会と共催した文協発表会での来場者からの募金を社会福祉のために
H30.10.14	登別市歌謡協会	30,000	チャリティー歌謡フェスティバルの益金の一部を社会福祉のために
H30.10.16	カトリック登別教会	3,000	バザーの益金の一部を社会福祉のために
H30.10.17	鷺別地区チャリティー市民演芸会実行委員会	158,400	第41回鷺別地区チャリティー市民演芸会の益金を社会福祉のために
H30.10.18	吉野 良子	2,000	ふれあいフェスティバルチケット返金分を社会福祉のために
H30.11.02	登別商工会議所女性会	50,000	第26回チャリティーパーティーの益金の一部を社会福祉のために
H30.11.07	石坂光汰朗	2,524	社会福祉のために
H30.11.08	わしこうD愛好会	10,000	アークスD愛好会、わかさD愛好会と共催した第21回ダンスパーティーの益金の一部を社会福祉のために
H30.11.16	登別地区チャリティー市民演芸会実行委員会	53,508	第41回登別地区チャリティー市民演芸会の益金を社会福祉のために
H30.11.17	登別ライオンズクラブ 登別中央ライオンズクラブ	50,000	合同チャリティーダンスパーティー益金の一部を社会福祉のために

愛の小箱等設置協力者のご紹介（平成30年10月1日～平成30年11月30日）

（敬称略、単位：円）

受領年月日	設置協力者名	寄付金額	種別
H30.10.09	登別グランドホテル売店	11,783	愛の小箱
H30.10.10	匿名	1,795	愛の小箱
H30.10.24	いずみ亭	23,381	愛の小箱
H30.10.25	社協ふれあいの店	1,800	ハンドメイドガチャ
H30.10.31	協同組合登別中央ショッピングセンター	3,900	ガチャガチャ
H30.11.09	社協ふれあいの店	2,200	アクリルたわしガチャ
H30.11.29	ユアーズうえだ	13,036	愛の小箱
H30.11.29	協同組合登別中央ショッピングセンター	2,000	ガチャガチャ

上記期間にお届けいただいた団体等のみ掲載しています。